

石狩川水系空知川河川整備計画[変更]原案に寄せられたご意見について

- 縦覧期間 平成 30 年 1 月 30 日～平成 30 年 2 月 26 日
- 縦覧場所 空知川流域の各市役所・町役場（滝川市、砂川市、赤平市、芦別市、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町）や札幌開発建設部本部、滝川河川事務所、空知川河川事務所、金山ダム管理支所、及び札幌開発建設部のホームページによる閲覧

■ 説明会

3 回開催 参加者 89 名（記名者）

平成 30 年 2 月 6 日 南富良野町 34 名

平成 30 年 2 月 7 日 富良野市 19 名

平成 30 年 2 月 8 日 赤平市 36 名



説明会の開催状況（南富良野町）

■ 提出意見数

意見募集期間中（平成 30 年 1 月 30 日～平成 30 年 2 月 26 日）の郵送等による意見書提出は 13 件。

市町別意見書数

市 町	件数
滝 川 市	
砂 川 市	
赤 平 市	2
芦 別 市	1
富 良 野 市	1
上 富 良 野 町	
中 富 良 野 町	
南 富 良 野 町	6
そ の 他	3
計	13

石狩川水系空知川河川整備計画〔変更〕原案に対して寄せられたご意見について整理を行い、集約したご意見に対する石狩川水系空知川河川整備計画〔変更〕案への反映の状況等について次頁以下に示します。なお、文中の青色の箇所（P.O）は、〔変更〕案における該当箇所を表しています。

【河川整備計画の目標と実施 に関わるご意見】

- ・平成28年8月洪水の空知川の決壊がなくなるような計画に見直しが出来たと思うが、洪水被害のない河川整備計画にしてほしい。
- ・綺麗な川なので、河川整備計画変更原案どおり復旧することを希望する。

金山ダム上流域においては平成28年8月洪水流量を目標流量とする（P35）こととしており、河道断面が不足している区間については、河川環境に配慮しながら必要な河道断面を確保して洪水被害の軽減を図る（P35）こととしています。

河川整備計画に基づき、空知川の河川整備を総合的、効果的、効率的に推進（P31）して参ります。

- ・本文では金山ダム上流の河道の対象洪水と、金山ダム下流の河道の対象洪水が異なることを述べているが、金山ダムについてはどのような対象洪水に対してダムの放流能力の向上を図るのかを明確に示しておくべきであり、「金山ダム及び金山ダム上流域においては平成28年8月洪水流量を目標流量とする」と記載すべき。
- ・金山ダムの機能向上の中で、「放流能力等の向上」の「等」が何を意味するのか明確に記述してほしい。
- ・ダムの目標流入量を増やしたのであれば、それに伴って必要となるダムの洪水調節容量の増量方策についても、本計画に明確に盛り込んでほしい。
- ・「金山ダム再生事業」についても、本計画に基づき早期の実施計画調査着手をお願いする。

金山ダムの機能向上における放流能力の向上とは、平成28年8月洪水の金山ダムへのピーク時の流入量が、現状の金山ダムの放流施設から放流できる最大の放流量を上回ったことを受け、河川管理施設構造令に基づく設計洪水流量を設定し、必要な放流能力の向上を調査・検討することとしています。

また、金山ダム下流域の目標流量に対しては、金山ダム等の既設の洪水調節施設による効果を見込んだ上で配分流量を決定し、河道改修により対処することとしています。金山ダム上流域の目標流量に対しては、河道改修により対処することから、金山ダム上流域においては平成28年8月洪水流量を目標流量とする（P35）と原文のままとさせていただきます。

金山ダムの機能向上における「放流能力等の向上」の「等」につきましては、平成28年8月洪水における金山ダムの操作において一部異常洪水防災操作を実施したことを受け、ダムの放流方式や事前放流などダムの運用に関する事、洪水調節容量に関する事など、様々な内容を多角的・総合的に検討していく必要があるため、現時点では、放流能力等の向上について調査・検討を行い、必要な対策を講じる（P45）こととして記載しています。

今後の調査・検討を踏まえ、金山ダムの機能向上について具体的な方策を定めた時点で必要に応じて本整備計画をはじめ関連計画の見直しをすることとしています。

- ・金山ダム下流の金山・下金山地区のことが記載されていない。平成 28 年 8 月洪水では道道金山幾寅停車場線が侵食され、金山ダム下流の河川整備（築堤・護岸・河川断面の確保等）や維持管理（河道整理・流木処理・河畔林伐採等）についても検討願いたい。

金山ダム下流については、昭和 56 年 8 月上旬降雨と同規模の降雨により発生のおそれがある洪水流量に対しては概ね整備が進んで（P12）おりますが、近年の被災形態を踏まえ、河岸侵食・洗掘により堤防の安全性が損なわれるおそれのある区間は、その対策として河岸保護工を実施する（P38）こととし、河床や河岸の洗掘により既設護岸が破損するなど、機能や背後地に支障を及ぼすようなおそれがある場合は、適切な方法により措置する（P56）こととしています。また、土砂堆積や、流木が洪水の支障となる箇所は河道整正等を実施する（P56）こととし、河道内樹木についても、洪水の安全な流下等に支障とならないよう、繁茂状況を随時把握し適切に管理する（P55）こととしています。

【河川の維持及び流水の正常な機能の維持 に関するご意見】

- ・長期間にわたり空知川流域に生活し、金山ダムによる農業用水で経営が助かっている。水には助けられているが、管理は大変な費用と努力が必要であり、水系支川の補修管理も合わせて今後も宜しく願いたい。

洪水等による災害の発生防止又は軽減、河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持、河川環境の整備と保全が図られるよう、総合的な視点に立った維持管理を行う。また、地域住民、関係機関と連携・協働した維持管理の体制を構築する（P31）こととしています。

- ・水力発電の強化として、各ダムでの水力発電の発電施設増強による発電量の増加を考えられないか。再生可能エネルギーのまち（芦別市）としての PR や奈井江火力発電所のフォローとしての可能性を感じる。

発電ダムに関しては河川管理施設ではありませんが、流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保に努め、今後とも関係機関等と連携し、合理的な流水の利用を促進する（P31）こととしています。ご意見は施設管理者にお伝えします。

【河川空間の利用 に関するご意見】

- ・親水空間の充実を図って欲しい。
- ・上芦別公園の利活用を積極的に考えて欲しい。道の駅が空知川に隣接しているため、川の駅のような PR のしかたも考えられるのではないかと。釣り、カヌー、フットパス等の拠点として、道の駅周辺または上芦別公園周辺の再整備を期待する。

河川空間の利用については、空知川の豊かな自然環境を地域の貴重な水辺空間等として利用されるよう、地域と連携した取り組みの推進に努める（P31）こととしております。また、河川空間は、人々が川や水辺とふれあい親しめる場として利用されるよう地域住民や関係機関と連携し、その整備に努める（P37）こととしています。空知川に流域外からも人々が集い交流する拠点となるような取り組みに対して支援を行う（P51）こととしています。道の駅スタープラザ芦別及び上芦別公園についてのご意見は、施設管理者にお伝えします。

【関係機関との連携 に関するご意見】

- ・国・道・町などと一貫した整備、環境対策を行うためにも協力体制を整えて河川整備を行っていただきたい。
- ・国管理区間と道管理区間を国主導で実施して頂きたい。

空知川の河川整備の基本理念として、流域及び水系一貫の視点を持ち、北海道や関係市町の施策等と整合を図るとともに、河川整備基本方針に基づき、段階的な整備の目標を明確なものとして河川の総合的な管理を確保する（P31）こととしています。

また、「石狩川下流域外減災対策協議会」においては、構成員である自治体や河川管理者等の関係機関の取り組みを共有し、洪水氾濫による被害を軽減するための対策や、早期復旧に向けた取り組みを総合的かつ一体的に推進する（P60）こととしています。

【河川環境の整備と保全 に関わるご意見】

- ・最近水辺等でふれあう場が少ないと感じる。子供達が安全に川遊びのできる場所が欲しいと思う。

空知川の河川空間については、地域の人々が憩いの場や自然体験学習の場等として利用できるよう、関係機関と連携して、人と川のふれあいの場の提供に努める（P51）こととしています。

【河川の維持、地震対策、火山噴火による災害への対策 に関わるご意見】

- ・支川からの土砂流入、地震、噴火対策が追いついていない。
- ・築堤整備後も幾度にわたって洪水となるのは、各沢からの土石流が本流に流れ込み、川底が上昇しているためではないか。

土砂流入や土砂堆積について、支川合流部等の土砂堆積が洪水の流下の支障となる箇所は河道整正等を実施し、土砂堆積が頻繁に確認されている箇所については、原因・対策について調査・検討を進め、必要な対策を実施する（P56）こととしています。

地震について、地震が発生した場合に迅速な対応を図るため、関係機関と連携し、光ファイバーのループ化、伝達方法の複数化による情報収集・伝達ルートを確保する。また、現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動に対し、被災時においても最低限保持すべき機能を確保するため、河川管理施設の耐震性能について照査を行い、耐震対策を講じるとともに、地震により被害が発生した場合には、迅速に機能の回復を図る（P45）こととしています。

噴火については、ご意見を踏まえ「3. 今後に向けて 3-7 火山噴火による災害への対応」（P66）に、十勝岳において、被害を軽減するために、国および北海道の砂防部局では砂防施設の整備を進めていること、砂防施設の整備には長期間を要することから、整備途上において火山が噴火した場合における被害を軽減するための緊急的な減災対策を実施することとしていることを記載しました。また、今後も砂防部局や関係機関と連携し、火山活動を十分に把握するとともに、総合的な防災、危機管理等の強化対策について、調査・研究を進める旨の記載をしました。

【水災防止活動、地域防災力の向上、防災教育等 に関するご意見】

- ・災害に関して人命及び財産の保護のため、平素からの準備を備えておくことが重要。
- ・関係機関と自助力の適切な判断を常日頃から備えておくことが必要不可欠。
- ・災害規模に対応し施設等が備えてあるか。また、万全な体制であるかが重要。
- ・住民が危機感をもって防災に取り組むことが重要。

地域住民、自治会、水防団、自治体、河川管理者等の各主体が水害リスクに関する知識と心構えを共有し、自助、共助、公助の連携、協働を踏まえつつ、洪水時に的確に行動し、被害をできるだけ軽減するための防災体制や連絡体制の一層の強化を図るなど、水災防止体制の確立に努める（P60）こととしており、「石狩川下流域外減災対策協議会」においては、構成員である自治体や河川管理者等の関係機関の取り組みを共有し、洪水氾濫による被害を軽減するための対策や、早期復旧に向けた取り組みを総合的かつ一体的に推進する（P60）こととしています。

また、自然環境、社会環境、災害履歴及び河川特性を踏まえた防災教育や講習会等を地域住民等に対して継続的に実施するなど、水災防止に関する普及啓発活動に努め、自然災害から命を守るための知識・心構え・判断力・行動力を養うことが必要である（P61）としています。

関係住民の方々から寄せられたご意見

※受付順に掲載しています。

※個人名が記載されている部分は黒塗りとしています。

〈意見1〉

赤平市

当地の河川土砂災害、地震、噴火事態対策が追いついていない

以前気象庁■■■■報道官は、「財界さっぽろ」誌に発表、M・8・9の地震がどこで起こっても不思議でない。赤平市S88年空知川洪水で被災体験の上にとって

- 1、当時前年の濁水流域は、次年の今年はずいぶん大被害発生予告して一時疎開、三日後朝9時住んでいた2Fから眺めていた。中洲に取り残された■■■■宅が孤立、ロープで家を樹木に縛り付けた。
- 2、消防などボート用意、待機したが救助不能、私は、釣り糸投げてロープ届け■■■■さんがボートで救助、10分後家屋が流出、
- 3、赤平建設住宅等全て流失、平川町6軒長屋も流失、西文京町床上、天井まで氾濫、農村も大被害。
- 4、赤平パークゴルフ場はその後2回冠水被害修理に2000万円とか、このパークゴルフ場はその先が溢れる構図になったいと、知作長年やってきた錦町■■■■氏は言う。赤岡炭鉱の揚水場の時代から洪水の経験者。
- 5、その後築堤建設したものの西文京町地区築堤が、あと数十センチまで濁水、また赤平河川公園西文京町、泉町錦町、平岸などは数度にわたって洪水、これは各沢の河川から土石流によって川底が、上昇していることではないか
- 6、山の保安林の他各沢から土石流ともに本流に流れてくること
- 7、山の樹木をその点から根の浅い樹木から根を張る保水有効の樹木を守り育てることが有効と語る■■■■(宮下町)さん
- 8、以前は、田圃があって洪水を防止したという。山からの洪水を考え管理することが必要。
- 9、100年前空知川濁水で流れ魚も鮭、ウグイ、鯉、が豊富にいた事。大森林があったこと
- 10、100年ごとの地震災害、土石流崩壊氾濫危険区域監視防災対策で住民の命暮らし守ること
- 11、アメリカ、中国、日本など温暖化防止バリ協定促進とシロクマが絶滅は、人間社会の姿にならないようにを、第一に知恵も財政も使うべきと思います。

〈意見2〉

お住まいの市町村

。

札幌市

。

意見

35ページ

1-3-4 洪水等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 11 洪水による災害の発生防止又は軽減を図ることは、河川整備基本方針で定めた目標
- 12 に向けた段階的整備を総合的に勘案し、既往の戦後最大規模の洪水により発生する流
- 13 量の流下時における被害軽減を図ることを目標とする。
- 14 金山ダム下流域においては昭和56年8月上旬降雨により発生のおそれがある洪水
- 15 流量、金山ダム上流域においては平成28年8月洪水流量を目標流量とする（以下、「目
- 16 標流量」という。）。

。

意見 本文では金山ダム上流の河道の対象洪水と、金山ダム下流の河道の対象洪水が異なることを述べているが、肝心の金山ダムの対象洪水をどちらにするかを述べていない。後段で金山ダムの放流能力等の向上を掲げているのであれば、どのような対象洪水に対してダムの放流能力の向上を図るのかをここで明確に示して置くべき。

。

なお、昨年7月に改定された雨竜川河川整備計画では、「戦後最大規模の降雨により発生する洪水流量流下時の被害軽減を図ることを目標とする。下流域においては昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水流量注）、中上流域においては平成26年8月降雨により発生する洪水流量を目標流量とする。（以下「目標流量」という。）このため、治水・利水・環境の観点、社会的影響、経済性等を総合的に検討した結果、洪水調節施設と河道改修により対処することとする。」となっており、雨竜第2ダムを含む中上流域の目標流量を示し、ダムによる洪水調節も盛り込まれている。

。

修正意見

。

- 14 金山ダム下流域においては昭和56年8月上旬降雨により発生のおそれがある洪水
- 15 流量、金山ダム及び金山ダム上流域においては平成28年8月洪水流量を目標流量とす
- 16 る（以下、「目標流量」という。）。

以上。

〈意見3〉

お住まいの市町村 (例: 富良野市)

意見

私は五原市の東文京町に住んでいます。
昔は、空知川に、芦刈〜五原への川下りの
実行委員会を主催したり、水田の学校(卒)にて
子供達と遊ばせたりしました。今は水田等が
ほとんどなくなり残念に感じます。
今は五原エリアで推進委員会にてボランティア
活動をして、春にゴミ拾いをしてもらったり
したり。子供達も元気な反面、川遊びの出来る場所
が少いと思います。

〈意見4〉

●お住まいの市町村（富良野市）

※意見

空知川河川の堤防近傍に居住している為、自然災害については一抹の不安は感じています。

富良野地区はこれまで重大な災害を受けてないとともに、経験をした方々は殆どいないと思います。また空知川の崩壊や十勝岳噴火の直撃は受けてないものの、公共施設及び農地を含め大規模災害においては、人的、物的の損害は計り知れないものとなります。確率的にもその被害は公算大と思料します。

東北大震災の復興支援に参加した経験から、自然災害の恐ろしさを見に占めて痛感しています。特に天災・地変その他の災害は不意に発生することが多く、この災害に関して人命及び財産の保護の為、平素からの準備を備えておくことが極めて重要だと思います。

特にあらゆる関係機関と自助力の適切な判断は常日頃から備えておくことが必要不可欠です。しかしながら各地方の災害状況を知る限り、災害が発生してからでは関係機関及び自助力では助からないことが事実です。被害を最小限にとどめるには、災害規模にいかに対応し施設等（もちこたえる）が備えてあるか。また、万全な体制であるかが重要なことであり、人命・財産を最大限に救えるといっても過言ではないと思う。富良野市はこれまで「重大な災害がない！」のではなく運よく逃れてこれただけと住民が認識することと平事認識から有事認識に切り替え、危機感をもって防災に取り組むことが必要です。合わせて富良野地区のほぼ中心を流れる空知川河川の整備は必要だと改めて強く講話を聴いて感じました。

ちなみに富良野管内では地震よる津波の心配より、あらゆる施設が崩壊した後の被害状況構図や復興に必要な万全な備えを実践的に実施することが必要です。

※北海道の水災害では夏型災害と冬型災害を区分しての防災対策が重要だと思います。

〈意見 5〉

お住まいの市町村

。

札幌市

。

意見

44 ページ

(4) 金山ダムの機能向上

平成 28 年 8 月洪水では、金山ダムの最大放流能力を上回る流入量を記録したことから、放流能力等の向上について調査・検討を行い、必要な対策を講じる。

。

意見

金山ダム上流の目標流量（ダム基本計画で定められた基本高水流量？）を毎秒 1000 トンから毎秒 1400 トンに見直すこととなっているが、ダム下流の計画流量は毎秒 300 トンと改定前と同様になっています。これは、平成 28 年洪水を安全に調節できることを目標としたものと思われませんが、(4) 金山ダムの機能向上の中では「放流能力等の向上」しか盛り込まれていない。この「等」が何を意味するのかが不明なのでもう少し明確に記述していただきたい。

ダムからの放流能力の向上は、計画規模を超える洪水時にダム本体の安全を考慮し、いわゆる「ただし書き操作」をする場合に必要となる対策に過ぎないのであって、毎秒 1400 トンに増量された計画規模の洪水対策とは言えないのではないのでしょうか。

ダムの目標流入量を増やしたのであれば、それに伴って必要となるダムの洪水調節容量の増量方策についても、本計画に明確に盛り込んでいただきたい。

平成 28 年洪水を現在の金山ダム計画の一定率一定量放流方式で洪水調節するためには、約 4 割近くの容量増が必要と思われませんが、この対策としては、①洪水前の予備放流による洪水調節容量の確保、②ダムの利水計画の見直しによる利水容量の洪水調節容量への代替、③ダム貯水池の掘削・浚渫による容量の確保などが考えられます。

昨年 7 月に改定された雨竜川河川整備計画では、「既設ダムである雨竜第 1 ダム・第 2 ダムを有効活用し、新たに洪水調節機能を確保することについて、施設管理者と協議の上、各種調査・検討を行い、必要な対策を実施する。」ことが明確に盛り込まれ、これに基づき、平成 30 年度から「雨竜川ダム再生事業」の実実施計画調査に着手されると仄聞しておりますが、「金山ダム再生事業」につきましても、本計画に基づき早期の実実施計画調査着手を宜しくお願い申し上げます。

。

修文意見は、以下の通りです。

平成 28 年 8 月洪水では、金山ダムの基本高水流量及び最大放流能力を上回る流入量を記録したことから、金山ダムの洪水調節機能の向上のため、洪水調節容量の増量、放流能力等の向上について関係利水者や地元自治体とも協議の上、各種調査・検討を行い、必要な対策を実施する。

<意見6>

お住まいの市町村 (例: 富良野市) 南富良野町

意見

金山ダム放流後のことについて記載されていなかったの
記載についてを検討していただけたらと思います。

<意見7>

お住まいの市町村 (例: 富良野市) 空知郡南富良野町字総実

意見

空知川整備計画(変更)原案2、平成28年8月の空知川
の決壊が無くする用な計画と見直しが出来たと思
いますが、洪水被害の無い整備計画にしてほしい。

<意見8>

お住まいの市町村 (例: 富良野市) 南富良野町

意見

河川整備計画(変更)原案によると、金山ダム放流後(金山1号
下地区)のことは、一切記載されていないが、受蓄時に放流は
道道屋の放流機(増設)と放流(水門)も、放流後、流木処理
についても、併記されている状況が判る。

今後のダム下の河川整備(築堤、護岸、河川断面の確保)も併記
理(流木処理、流木処理、河川断面確保)に併記、横断(総)川。

<意見9>

お住まいの市町村(例:富良野市) (南富良野町)

意見

橋梁を1つ持つて、原野通り役口より希望
する、よしくお願ひ可。

<意見10>

お住まいの市町村(例:富良野市) 南富良野町

意見

国管理区間と道管理区間を国の主導で実施
して頂きたい。

<意見11>

お住まいの市町村(例:富良野市) 南富良野町

意見

今後とも同じ一本の河川として、国、道、町、市、
一貫して整備、環境対策を行うためにも、協力体制を整えて
河川整備を行って頂きたい。

〈意見12〉

お住まいの市町村 (例: 富良野市) 市民です。

意見

長期間にわたり空知川流域に生活して
日々恩を受けてます

農業用水として夏場は金山ダムからの用水
で経営に大助かりです。地元空知川
上流土地改良区の皆様と地域の管理
組合によって適正に管理されている事に感謝

2月7日、地元空知川河川整備計画の
変更に関する説明会多くの市民の出席あり
感心の高さを喜び、今必要な事項につ
いての説明を聞いてほしいと思っています。

水には日々助けられたいはずが管理は大変
な費用と努力が必要で、今後共々、
水系の支線の補修管理を合せて御願ひ

〈意見13〉

お住まいの市町村(例:富良野市)

芦別市

意見

- 親水空間の充実に困って欲しい

滝尾ダム周辺のキャンプ場などは整備されているが、市街地から遠いため、市民が水辺と親しむ機会については増えたとは思えない。昨年、JCらにより上芦別公園まわりが復元した事もあり、上芦別公園(野尻南ダムのダム湖)の利活用を積極的に考えていただきたい。上芦別は市街地にほぼ隣接し、駐車場・トイレ等があるため観光客での利用が見込まれる。

また、道の駅が空知川、旭橋に隣接しているため、「川の駅」のようなPRのしかたを考えられるのではないかと、釣り、カヌー、フットパス等の拠点として、道の駅周辺又は上芦別公園周辺の再整備に期待します。

- 水力発電の強化。

本計画とは直接関係しないかもしれませんが、各ダムでの水力発電の

水力発電施設増強により発電量の増加は考えられないでしょうか。

「毎時可能なエネルギーのまち」としてのPRや、再生エネルギーのフォローとして可能性を感じています。